

Priority Manual

岐阜日石グループ

プライオリティ

- 「岐阜日石プライオリティ」策定の想い 5
- プライオリティ 6
 - ・当社の存続のために、常に目的を考え、スピードを優先する 7
 - ・従業員にとって魅力的な会社、誇らしい会社創りを常に追求する 8
 - ・信用・信頼される企業であり続けるために、
当社の従業員として高い人格を追求する 9
 - ・地域の生活を支える責任ある仕事をさせていただけることが誇りである 10
 - ・時代の変化を先んじてとらえ、適応し続ける企業である 11

行動指針

- 7つの行動指針 13
 - ・明るい挨拶と清潔な身だしなみを徹底しよう 14
 - ・お客様に対しても、仲間に対しても気配りしよう 15
 - ・真摯な姿勢を追求しよう 16
 - ・自ら考え、自らの意見を発信しよう 17
 - ・仕事を充実させ、プライベートも充実させよう 18
 - ・自己管理を徹底しよう 19
 - ・コンプライアンス（法令順守）を徹底しよう 20



岐阜日石プライオリティ



「岐阜日石プライオリティ」策定の想い

岐阜日石グループは永遠に生き残る。

21世紀のみならず、22世紀もさらにその先もバトンは引き継がれる。

今を見て、明日を見て、さらに数年先、10年先、20年先・・・

予測は悲観的に。行動は極めて楽観的に。迷わず進むだけ。

変化はいつのタイミングでどのような形で起こりうるか誰もわからない。

しかし、変化の兆候が見えたら、極めて迅速に「対応」し、

どこへ向かうか決定し進まねばならない。

それこそが「企業の永続性」であり地域で最後まで生き残り

進化しつづける道であると考える。

平時に身をゆだねてはならない。安閑としているのなら生きていけない。

生きる資格もない。常に毎日が「戦場」である。

「企業」とはそういう緊張感を持った「戦士」の集団である。

どこまでも満足することなく、「追求」を続けよう！

2020年1月1日

岐阜日石株式会社

代表取締役社長 和田 隆

岐阜日石プライオリティ

- 当社の存続のために、常に目的を考え、スピードを優先する
- 従業員にとって魅力的な会社、誇らしい会社創りを常に追求する
- 信用・信頼される企業であり続けるために、
当社の従業員として高い人格を追求する
- 地域の生活を支える責任ある仕事をさせていただけることが誇りである
- 時代の変化を先んじてとらえ、適応し続ける企業である

当社の存続のために、常に目的を考え、スピードを優先する

例えば、現在進めている事業に関連性のないビジネスには未来永劫、手を出さない。目先の利益目的の株式投資や不動産投資、本業に相乗効果のない、あるいは、経営方針とは相容れない事業の立ち上げや買収はしない。

正しい意思決定をするためには、常に「目的は何か？」を考える必要がある。例えば、経営戦略に関する意思決定には、「当社の存続」を考えなければならない。あるいは、商品やサービス提供の意思決定には、「お客様のメリットと満足度向上」を、人財に関する意思決定には「従業員のやりがい・成長」を考えなければならない。

また、経験がない業務に取り組むときには特に、慎重に、かつ細かいところまで丁寧に情報収集や分析をし、できうる限りの正しい判断を下す必要がある。加えて、自分たちの知っていることだけの狭い視野で考えるのではなく、幅広い情報や知識を得るために、例えば、外部セミナーや識者など、自分たち以外の人々のものの見方や考え方、アドバイスを活用する。あるいは、取引先やお客様にインタビューしたり、関連団体から情報収集するなど、常に自分たちの判断の精度を高める努力をする必要がある。

さらには、意思決定には「タイミング」が重要。正しい意思決定も、タイミングが遅れると正しい意思決定ではなくなる。例えば、新規事業進出のビジネスチャンスを逃したり、人財の成長の機会を奪うことにもなるかもしれない。タイミングを逃さないために、常に「スピード」を意識しなければならない。

従業員にとって魅力的な会社、誇らしい会社創りを常に追求する

時代の変化とともに、仕事に対する考え方も変化していく。

高度経済成長期には、時間や生産性という概念よりも、長時間労働で大きな成果を出すことが奨励された。その後、欧米型の成果連動の考え方や「時短」が流行した。2010年代には、生産性向上が謳われ、残業圧縮や有給取得の促進など、「ワークライフバランス」「健康経営推進」の考え方が国家主導で推進された。それによって、共に働く従業員も外国人材、シニア、女性の積極登用などかつてないほどの「多様性」が加わってきた。今後も、時代の流れとともにこうした「労働観」は変化し続けていくだろう。

このように、仕事に対する考え方は常に変化し、やりがい、喜び、幸せの形も変わっていく。会社は、その価値観や労働観、あるいは健康に対する考え方の変化を受け入れ、従業員が仕事を通してやりがいを感じ、幸せな人生を歩んでいくための環境を作る役割がある。時代に合った仕事のやりがいの形を常に求めて、働くすべての従業員が誇りを持って働くことができる会社創りをする。

信用・信頼される企業であり続けるために、当社の従業員として高い人格を追求する

信用・信頼される会社であれば、お客様にとっては「無くてはならない会社・お店」になり、継続してご利用いただけることとなる。取引先からは大切にされ、よりよい商品やサービスを提供していただけるだろう。また、従業員は高い誇りを持ち、その家族からは仕事に対する理解が深まり、サポートをしてもらえ、地域で「働きたい会社」として新たな従業員の採用にもつながっていくだろう。

信用していただくためには、当社の従業員は、約束やルール、規律を徹底して遵守し、より高い人格になるために努力を続けなければならない。法律や社会のルールや常識に反すること、人としてやってはいけないこと、誰かを不幸にするようなことは一切してはならない。また、同僚のそういったことは決して許さない。たとえそれが上司や経営陣であったとしても、正しい行動ができるように指摘しなければならない。

あるいは、それが取引先やお客様であれば、まずは注意喚起し是正措置を依頼する。それで改善が見られなければ、お取引はしない。

そして、信頼していただくためには、常により良い商品・サービスをご提供させていただくために勉強・研究し、あるいは提供技術を磨き、お客様の満足度を一層高める努力をし続けなければならない。それが「信用・信頼される企業」であり続けることである。

また、取引先は単なる「業者」という考え方を持つてはいけない。取引先からは、腰の低い姿勢で提案などを受けることもあるかもしれないが、だからといってこちらが上から目線になってはいけない。また、取引先に対して邪険に対応する、といったこともあってはならない。取引先がいてくれるからこそ、当社はお客様に対してより良い商品・サービスを提供していくことができるのであり、お客様と同様に当社の大切なパートナーの一員として接していくべきである。日々のそういう我々の行動が最終的に当社の信用・信頼に繋がり、取引先の方々も当社に対してより熱心に「協力」をして下さることとなる。

地域の生活を支える責任ある仕事をさせていただけることが誇りである

我々は、最優先に大切な生活必需品を提供することで地域の生活を支えるという、大きな責任のある仕事をさせていただいている。会社創立から、ライフラインに直結する石油製品、あるいは自動車販売やその関連商品など、クルマに関わる一切の事業を営んでいる。例えば災害時などの有事には、病院・警察・防衛・消防・電力会社・報道機関・危機管理対応官公庁などに対して緊急対応として最優先にエネルギー供給するなど、当社が率先してエネルギー供給をしていかなければ、地域の活動が停止してしまうという、責任ある重要な仕事を担っている。それらがないと日常生活が成り立たないものを扱っているのであり、仮に品質の低いものを提供してしまえば、地域の生活そのものの質を下げることに直結する。そういう重要なものを提供させていただくことが当社の仕事であり、責任である。そして今後も、エネルギーや移動手段の代替が起こったとしても、その時代に合わせて、当社は地域の生活に必要なものを提供し続けていく。

我々が日々努力し、よりよい商品・サービスを提供させていただくことが、地域の皆様の生活をよりよくすることにつながっていく。そういう仕事をさせていただいていることが我々の誇りである。

時代の変化を先んじてとらえ、適応し続ける企業である

我々は地域の生活を支え、より豊かで便利な生活をお送りいただくために商品・サービスを提供している。エネルギーや移動手段の進化に伴い、エネルギーの代替や移動手段の変化も進んでいくかもしれない。

時代が変われば求められるニーズも変化していく。我々は常にこの変化を先んじてとらえ、地域の生活を支えるだけでなく、より豊かな生活を営んでいただけるよう、常に時代に合った商品・サービスを提供し続けなければならない。

時代の変化を先んじてとらえるために、我々は常に新しい情報、変化の動きに敏感になり、調査、研究を怠ってはならない。

これが、地域の生活を支える企業の責任である。

岐阜日石グループ7つの行動指針

岐阜日石グループ7つの行動指針

岐阜日石グループ7つの行動指針

- 1 明るい挨拶と清潔な身だしなみを徹底しよう
- 2 お客様に対しても、仲間に対しても気配りをしよう
- 3 真摯な姿勢を追求しよう
- 4 自ら考え、自らの意見を発信しよう
- 5 仕事を充実させ、プライベートも充実させよう
- 6 自己管理を徹底しよう
- 7 コンプライアンス（法令順守）を徹底しよう

1. 明るい挨拶と清潔な身だしなみを徹底しよう

我々は接客業であり、サービス業である。
お客様に気持ちよく感じていただくことが重要。

お客様はもちろん、取引先、上司、部下、同僚、そして家族にも、
自分から最初に明るく最高の挨拶をしよう。

挨拶とは、「心を開いて相手の心に近づく」という意味がある。
明るい挨拶は相手とのコミュニケーション、すなわち心の交流を促す。

そして、身だしなみは乱れてはいけない。不潔ではいけない。
乱れているかどうか、不潔かどうかを判断するのは「お客様」であり、
「他者」である。

「他者」からみて身だしなみが乱れていないか、不潔に感じられないか、
常に意識しよう。

そして、仲間の身だしなみが整っていないと感じたら、あるいは清潔感を
無くしていると感じたら、遠慮なく指摘しよう。
指摘されたら、「指摘する側も気を使っているんだ」という感謝の
気持ちで自分を見直そう。

2. お客様に対しても、仲間に対しても気配りをしよう

お客様にこちらの考えを押し付けるようなことはあってはならない。

お客様が要望していることは何か。常に気を配ろう。

そして、お客様が要望していることだけでなく、プロとして、それ以上に
喜んでいただけるアドバイス、提案をする努力をしよう。

仲間に対して常に気を配ろう。
我々は一人で仕事をしているのではない。仲間がいるから、自分の役割を
果たすことができる。

自己中心的であってはならない。自分都合優先であってはならない。
仲間に感謝の気持ちをもって、仲間が困っていたら手を差し伸べよう。
仲間が喜んでいたら一緒に喜ぼう。

3. 真摯な姿勢を追求しよう

「真摯」とは、まじめでひたむきなことをいう。

我々は仕事をして報酬を得ている。つまり「プロ」である。

「プロ」であるからには、

仕事に対して常に真摯な姿勢で向き合わなくてはならない。
誠心誠意仕事に取り組まなければならない。

行動しよう。何もしなくて何も起こらないよりも、行動して失敗しよう。
失敗しても、成功のために努力を続ければよい。
ただし、同じ失敗は繰り返してはならない。
失敗したら、「なぜ失敗したのか」を考えて、次の行動に生かしていこう。
その経験が血となり肉となる。

現状満足してはならない。常に、さらに上を目指さなければならない。
仕事力を高めるため、常に自己成長を求め、研鑽しなければならない。

4. 自ら考え、自らの意見を発信しよう

何事も、自分でまず考えてみよう。

「どうしたらいいですか?」ではなく、「自分は〇〇だと考えるのですが、いかがでしょうか」と言おう。
上司が、部下が、同僚が、お客様がすべて正しいとは限らない。
何が正しいことなのか、自分で考える習慣を身につけることが、組織全体のレベルアップにつながっていく。

そして、いくら考えていても、言葉にして発しないと他者には伝わらない。
いくら考えていても、発言をしなければそれは「考えていない」ことと同じである。

自分の考えを発信しよう。

考えを発信すると、異なる意見や反論に会うこともあるだろう。しかし、そこで発信をやめてはならない。前向きに意見交換を続けることで、よりよい結論にたどり着くことができる。納得するまでやめてはならない。あきらめてはならない。

5. 仕事を充実させ、プライベートも充実させよう

「充実」は、目標を持ち、それに向かって全力を尽くしているとき、努力を続けているときに得られるものである。

人生の大半は仕事をして過ごしているのだから、仕事そのものを充実させることが、人生を充実させることにつながっていく。

「充実」は、日々を惰性で過ごしては感じることはできない。
「充実」は、働いた時間が長いからといって得られるものではない。

仕事が充実していなければ、いくら多くの余暇を過ごしても本当の充実感は得られない。

充実した仕事を続けることで、人間として成長し、周囲から信頼を得られるようになり、やがてよりよい仕事、人生につながっていく。

仕事に目標を持ち、全力を尽くそう。
そして、充実した人生を送ろう。

6. 自己管理を徹底しよう

我々は「プロ」である。

常に最高のパフォーマンスを発揮できるよう、常に自己管理を徹底しなければならない。

時間にルーズであってはならない。
時間を守ることは、周囲の信頼を得る一番の近道であり、時間にルーズなことは、周囲の信頼を失う一番の近道。

健康管理を怠ってはならない。
体調不良だと、プロとしての責任は果たせない。
自分のカラダの状態を正しく把握し、常に最良の状態を保つための努力を続けよう。

7. コンプライアンス（法令順守）を徹底しよう

我々は車のプロである。
我々は、岐阜を代表する企業である。
地域社会の見本となる、コンプライアンスの徹底した企業でなくてはならない。

自分たちだけでなく、顧客や取引先に対しても、違法行為に手を出してはならない。

社会秩序や道徳に反することはしてはならない。

不正取引をしてはならない。
不正は絶対にあってはならない。不正は許されてはならない。

法律、就業規則、職場のルールなど、すべては「守る」ためにある。
組織の秩序を保つためにも、コンプライアンスを徹底しなければならない。

判断に迷ったときは、「グレー」であればそれは「クロ」であり、やってはならない。

Priority Manual

2020年1月1日 初版発行

発行者 岐阜日石株式会社
発行所 岐阜日石株式会社
〒500-8585 岐阜市東金宝町2の2
電話 058-262-6121